

留 学 報 告 書

記入日:2017年4月3日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部・国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ハワイ大学マノア校 現地言語: University of Hawai'i at Mānoa
留学期間	2016年8月～2017年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年3月21日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	23,052.80	2,567,791 円	
宿舍費	9,434.55	1,050,890 円	
食費	3,692.94	411,347 円	
渡航旅費	1,999.87	222,760 円	
その他	3,232.48	360,057 円	
合計	41,412.64	4,612,845 円	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
	ホームステイ
2)部屋の形態	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)住居を探した方法:	
	インターネット
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
	ホームステイは、ホストファミリーと生活できるので、セキュリティー上安心です。
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
	留学プログラムの担当者に相談しました。その担当者が勤めているオフィスが相談窓口のような感じでした。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
	外務省からの注意喚起メールやニュースから情報収集し、パスポートや巨額の現金を持ち歩かないように心がけました。実際に犯罪に巻き込まれることはありませんでした。
4)パソコン, 携帯電話, インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので, 寮で使用できない時はカフェに行った。)	
	ホームステイ先や大学内でほぼ常に無料のWifiに接続することができました。
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また, クレジットカードも併用していた。)	
	キャッシュパスポートを携帯しており, ATM やスーパーのキャッシュバックで現金を引き落としたり, クレジットカードとして利用したりしていました。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
	特にありません。
7)授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った, 渡航前に留学先大学から指示があった, 渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
	現地で, ハワイ大学のホームページからクレジットカードの情報などを入力して支払いました。
卒業後の進路について	
留学を通して生じた, 今後の進路についての考えについて教えてください。	
	現地のインターンシップ先で同じ仕事をしたいと思うようになりました。また, 日本で就職することになっても, 職場で英語を使う環境で働きたいと思います。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 21 単位(予定) <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Summer NICE	留学関係科目(語学・実習)
科目設置学部・研究科	なし
履修期間	秋学期前 8 月の 3 週間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、課外授業、グループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 200 分が 5 回
担当教授	Professor Rue Burch
授業内容	ハワイの歴史文化、英語におけるコミュニケーション、LGBT について
試験・課題など	小レポート、プレゼンテーション
感想を自由記入	ハワイの歴史や文化を学ぶことができたので楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to American University Classroom/ Internships	留学関係科目(語学・実習)
科目設置学部・研究科	なし
履修期間	2016 秋学期
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ミーティング(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	秋学期に2回
担当教授	Dennis R. Chase
授業内容	アメリカの大統領選挙、スモールトークについて
試験・課題など	なし
感想を自由記入	大統領選挙についてリアルタイムで詳しく学べたのでためになりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
SLS 150: Learning Languages and Communicating in a Globalized World	留学関係科目(講義)
科目設置学部・研究科	Second Language Studies
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、グループディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回

担当教授	Professor Mark Wilding
授業内容	第2言語習得方法及びグローバル化に伴う言語取得の環境について
試験・課題など	試験は中間試験と期末試験の合計 2 回実施されました。毎週関連資料を読むという課題が課されていました。また、週に 1 回、決められたグループがその週の題に関する発表を行いました。
感想を自由記入	第2言語である英語の習得方法について興味があったので、非常にためになりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
TIM 101: Introduction to Travel Industry Management	留学関係科目(講義)
科目設置学部・研究科	Travel Industry Management
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、グループディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Ashley Schroeder
授業内容	観光産業の全体像及び各分野の基礎知識について
試験・課題など	試験は合計 3 回実施されました。また、観光業に携わる責任者とのインタビューに基づいたレポートの作成が課されました。
感想を自由記入	観光業について幅広く学ぶことができたので、興味深かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
SOC 214: Introduction to Race and Ethnic Relations	留学関係科目(講義)
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、自由ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Professor Sun-Ki Chai
授業内容	民族性の構成要素及び民族間の関係性について
試験・課題など	試験は実施されず、課題としてレポートを 4 回提出しました。
感想を自由記入	講義や課題を通し、民族性を考慮する際の新たな視点を身に付けることができました。世界を民族という観点からみつめることができる、非常に役立つ授業だと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
AMST 150: America and the World	留学関係科目(講義)
科目設置学部・研究科	American Studies
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)

授業形態	講義形式、グループディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Professor Jeffrey A Tripp
授業内容	アメリカ合衆国と関連国との歴史と関係性について
試験・課題など	試験は中間試験と期末試験の合計 2 回実施されました。毎授業その週の題に関する資料を読むことが課題として課されました。また、小レポートを合計 4 回提出しました。
感想を自由記入	アメリカ合衆国と世界の歴史を学ぶだけではなく、現在世界を取り巻いている情勢についても詳しく学ぶことができたので、非常に勉強になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
BUS 395-I: Internship		インターンシップ	
科目設置学部・研究科	Business		
履修期間	2017 春学期		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	インターンシップ(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 480 分が 4 回		
担当教授	Richard Varley		
授業内容	ヒルトンハワイアンビレッジワイキキビーチリゾートのフロントオフィスで職業体験		
試験・課題など	試験は実施されず、期末にレポートを提出しました。		
感想を自由記入	英語と日本語を使って、チームメンバーと協力しながら、実際にホテルで働くことができたので、とても貴重な経験になりました。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2015年 1月～3月	大学受験
4月～7月	明治大学入学、留学関連の説明会に出席
8月～9月	TOEFL iBT に向けた勉強
10月～12月	TOEFL iBT に向けた勉強及び受験、明治大学への留学出願及び1次面接
2016年 1月～3月	留学面接の合格発表
4月～7月	ヒルトンハワイアンビレッジワイキキビーチリゾートによるビデオ面接(2次面接)、合格発表、パスポート及びVISAの習得、留学開始
8月～9月	Summer NICE 及び秋学期開始
10月～12月	中間試験及び期末試験、秋学期終了、インターンシップ開始
2017年 1月～3月	インターンシップ、最終レポートの提出、帰国
4月～7月	明治大学に復学、春学期開始、各報告書の提出
8月～9月	未定
10月～12月	未定

留学体験記

以下の各項目についてそれぞれ 200 字以上で具体的にご回答ください。

留学しようと決めた理由	留学を通して、語学力及びコミュニケーション能力を高めたいと思ったからです。英語は 1 年次に多くの時間をかけて学んでいましたが、授業以外で使う機会が少なかったため、実際に海外に行って英語を使うことで、その力を伸ばしたいと思いました。また、自分が生まれ育ってきた日本を離れ、異なる環境に身を置くことで成長したいと思ったからです。もともと引っ込み思案で消極的な面があったため、留学を通して、自分の殻を破り、主体性を持って行動できる人間になりたいと思いました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学を志願するにあたって、TOEFL iBT のスコアが必要になるため、その試験に向けて勉強しました。TOEFL Preparation という授業を 1 年次に明治大学で受講していたので、その授業内でテクニックを学びました。自宅では、コンピュータ上で練習問題を解くことができるソフトを購入し、授業の復習として取り組みました。留学先は日本とは文化や環境が異なるので、留学前に現地のことについて十分に調べて知識を身に付け、理解を深めておく必要があったと思いました。
この留学先を選んだ理由	ハワイ大学アカデミック・インターンシッププログラムには、8 月に Summer NICE と呼ばれるプログラムがあり、秋学期が始まる前に英語を話す環境に慣れることができると思ったからです。また、このプログラムでは、大学で興味のある観光業を中心に学ぶことができるので、その点も魅力のひとつでした。さらに、海外で大学生活を送るだけでなく、ホスピタリティ産業でインターンシップをすることもできるので、より実践的で充実した経験ができると思い志望しました。
大学・学生の雰囲気	ハワイ大学のキャンパスは非常に広々としており、多くの緑に囲まれています。図書館は自習スペースが多くあり、勉強する環境が整っていました。学生は、図書館だけではなく、カフェテリアなどで友人とともに勉強している者も多く、勉強熱心な印象を受けました。また、大学には多くのサークル団体が存在し、勉強の時間以外も充実しているように見受けられました。学科が主催しているサークル団体もあり、就職に向けた活動もあるため、同じ専攻の生徒同士でお互いに励ましあい切磋琢磨しながら、充実した大学生活を送っているようでした。
寮の雰囲気	私は寮生活はしておらず、留学期間中の初めから終わりまでホームステイをしていました。留学期間の半ばを過ぎたあたりで、インターンシップ先により近いホストファミリーのご家庭に引っ越しました。家庭の雰囲気は家庭によって様々ですが、私がお世話になったご家庭はどちらもアットホームな雰囲気でした。特に後半お世話になった家庭では厳しい決まりがなかったので、非常に過ごしやすかったです。どちらの家庭でも、時節に合わせてパーティーが開かれることが多く、地域の方など多くの方々と交流することができました。
交友関係	8 月に開講された Summer NICE では、クラスの大半が日本人だったので打ち解けやすく、多くの友人ができました。また、日本以外の国の出身の方とも仲良くなることができました。秋学期が始まってからは、現地の学生と交流する機会が多く、休日に一緒に出掛けることもありました。インターンシップ先では、同じ仕事を担当している同僚や、人事部の方、食堂でシェフとして働いている方、エンジニアとして働いている方など、仕事を通して様々な部署の方と知り合い、仕事以外でもお会いする機会が多く、親密な関係を築くことができました。
困ったこと、大変だったこと	秋学期に受講する授業を選択する際に自らの希望を伝えず、その結果自動的に選択科目が決定してしまっていたことがありました。自分の意思をしっかり持たず、それを伝える勇気をもっていなかったことが原因でした。自分自身を変えるということが最も苦勞したことだと思います。また、必修科目である観光学の授業の 2 つのうち 1 つが、オンライン授業に変更されており、VISA の都合上受講することができませんでした。インターンシップでは、それぞれの部署で仕事をして回り、本人の希望も考慮しながら最終的に特定の部署に配属されるという説明を受けていましたが、実際は初日には既に配属先が決められていました。留学前に受けていた説明と実際に経験したことが異なることが多かったため、自分自身をその都度新しい状況に適合させることが大変でした。
学習内容・勉強について	Summer NICE では、教授がゆっくりとしたスピードで話してくださったので、授業についていくことはそれほど大変ではありませんでした。授業もオープン型で、生徒が発言しやすい環境でした。秋学期に入ると、学習内容が難しくなり、授業のスピードも速かったので、ついていくのに精一杯でした。基本的に授業は講義式でしたが、学生同士でディスカッションをしたり、プレゼンテーションを行ったりするなど、グループでの共同作業も多くありました。

課題・試験について	どの授業も課題の量が多く、1回の授業の準備に非常に時間がかかりました。そのため、全ての授業の準備を授業前に行うことは難しく、優先順位をつけて取り組んでいました。主な課題は、授業前に教科書や関連資料を読むということでした。提出する課題も多く、提出日が他の課題や試験に近い場合は特に多忙を極めました。試験は授業内容が基礎になっていたため、授業中に少しでも多くのことを吸収しようとして心掛けていました。試験時間として割り当てられた時間に対して、問題量が非常に多い科目もあり、回答の内容が薄くなってしまったり、時間内に全ての問題を解き終えることができなかったりと、苦戦することも多々ありました。
大学外の活動について	秋学期から、観光学の学科が公認しているMPI(Meeting Professionals International)という団体に所属していました。主な活動は、ホテル内の見学や、ホスピタリティ産業関連のイベントにボランティアとして参加することです。そのひとつとして、10月に Hyatt Regency Waikiki Beach Resort and Spa でオークションが行われ、ボランティアとして会場の準備と、お客様のチェックイン・チェックアウト業務を担当しました。英語を使って、仲間と協力したり、多くのお客様と交流することができたりと、自分自身が成長できる良い機会となりました。
留学を志す人へ	海外では、自分の意思をしっかりと持ち、自発的に意見を述べるということが求められます。疑問に思うことがあったらそのままにせず、まずは思い切って聞いてみるのが大切です。そのようにすることで、誤解を防ぎ、信頼関係を築くことに繋がります。自分からコミュニケーションしようとする意思が伝われば、相手も心を開いてくれるので、積極的に行動することが大切だと思います。英語に自信がなくても失敗を恐れず、その時自分ができることに精一杯取り組むことで、留学後には成長した自分に出会えるはずですよ。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床、朝食、準備	起床、朝食、準備	起床、朝食、準備	起床、朝食、準備	起床、朝食、準備	起床、朝食	起床、朝食、準備
	授業	自習、昼食	授業	自習、昼食	授業	準備	ハイキング
午後	昼食、自習	授業	昼食、自習	授業	昼食、自習	海岸散策	昼食
	自習	自習	自習	自習	自習	海岸散策	帰宅、自習
夕刻	帰宅、夕食	帰宅、夕食	帰宅、夕食	帰宅、夕食	帰宅、夕食	夕食	夕食
夜	入浴、就寝	入浴、就寝	入浴、就寝	入浴、就寝	入浴、就寝	帰宅、入浴、就寝	入浴、就寝